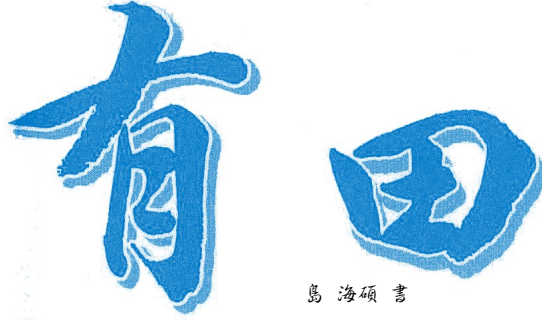


No. 2924

2019-2020年度

会 長 橋本 拓也
幹 事 中元耕一郎
R広報委員長 脇村 重徳



第2640地区
例会日 毎週木曜日 12:30
例会場 紀州有田商工会議所6F
事務所 〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータリークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020
創 立 昭和34年6月15日
ホームページ <http://www.aridarc.jp>
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



2019-2020年度クラブ方針

明日に繋がる活動

Activities for a brighter future



本日のプログラム

令和元年9月12日 第2925回

- ・親睦月見例会 (場所: Testimone)
- ・外部卓話: 高田修三氏 (経済産業省製造産業局長)
- ・ソング: 「それでこそロータリー」

次回のお知らせ

令和元年9月26日 第2926回

- ・外部卓話: 「『友』あれこれ」
渡辺誠二氏 (ロータリーの友事務所所長・理事)
- ・ソング: 「四つのテスト」

前回の報告 (第2924回例会)

開催日 令和元年9月5日(木)

点 鐘 (橋本会長)

ゲストの紹介 (児嶋親睦活動委員長)

ゲスト: 柳川敏彦様
(和歌山県立医科大学保健看護学部長・
NPO法人和歌山子ども虐待防止協会事務局長)
任泰然君(米山奨学生)

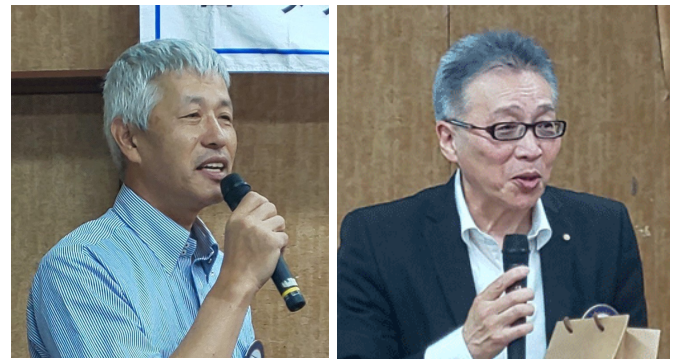
米山奨学金授与 (橋本会長)



橋本会長より
9月分の米山奨学金
が任泰然君に授与さ
れました。

今月の誕生・結婚祝 (児嶋親睦活動委員長)

会員誕生: 菅原君
配偶者誕生: 福原久美さん、大塚隆さん、
成戸祐三さん、中村有香さん
結婚記念: 福原君



(左) 9月がお誕生日の菅原君と
(右) 9月が結婚記念の福原君です。
おめでとうございます!



ニコニコ箱の報告 (岩橋SAA)

橋本君: 柳川様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろしく
お願いします。
中元君: 柳川先生、ようこそ有田ロータリークラブへ。本日
よろしく願いいたします。
石垣(洋)君: 柳川敏彦様、ようこそ有田RCへお越し下さ
いました。卓話よろしく願いします。早退させてもらい
ます。
上野山(捷)君: 柳川敏彦様、本日の卓話よろしく願い
致します。
児島君: 柳川様、有田RCへようこそ。お話、楽しみです。
宮井君: 柳川先生、本日の卓話ご苦労さまです。勉強させ
ていただきます。
松村君: 柳川学部長様、お話楽しみです。勉強させてい
ただきます。

橋爪(誠)君:柳川様ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろしくお願ひ致します。勉強させていただきます。

井上君:柳川様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろしくお願ひします。

川口君:柳川敏彦様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話宜しくお願ひ致します。

石垣(泰)君:柳川敏彦様、ようこそ有田RCへお越し下さいました。本日の卓話宜しくお願ひ致します。

丸山君:柳川様、卓話楽しみにしています。ホットなテーマなので勉強していきます。

児嶋君:柳川敏彦様、ようこそ有田ロータリークラブへ。今月の結婚記念日、会員誕生日、配偶者誕生日を迎えられた皆様おめでとうございます。

菅原君:柳川先生ようこそ有田ロータリークラブへ。本日の卓話宜しくお願ひ致します。

嶋田(恵)君:柳川学部長様、勉強させていただきたいと思います。よろしくお願ひします。

せました。ポリオ・プラスの目標は、ポリオ撲滅の世界的証明です。

1988年の世界保健機関総会でポリオを世界的に撲滅するという決議が採択されました。そしてロータリーは、世界ポリオ撲滅推進活動(Global Polio Eradication Initiative=GPEI)の発足メンバーとなりました。

GPEIは、国際ロータリーをはじめとするパートナー団体と各国政府による、世界からポリオを撲滅することを使命とする官民共同のパートナーシップです。GPEIが立ち上げられて以来約30年間の懸命な活動によりポリオの撲滅実現に向けたラストスパートに入っています。

ロータリーがGPEIにもたらした最も大切なもの、それは「ポリオのない世界」というビジョンです。GPEIでは、主要パートナー団体(世界保健機関(WHO)、米国疾病対策センター(CDC)、UNICEF(国連児童基金)、ビル&メリンダ・ゲイツ財団)がそれぞれ異なる役割を担っています。その中でロータリーは、アドボカシーを担当しています。

出席報告

(石垣(泰)例会運営委員長)

本日の会員数31名

(出席規定免除会員8名)

出席会員数23名

(出席規定免除会員7名)

会長の時間

(橋本会長)

「ポリオについて」

柳川敏彦さま、ようこそ有田RCへお越しくださいました。柳川さまには児童の虐待防止に関するお話をして頂けると思いますので、本日の会長の時間はポリオ撲滅の活動について話します。

ポリオウイルスは人から人へ感染し、最も多いのは汚染水を通じた感染です。神経系を侵すこともあり、これによって身体のみひを引き起こす可能性があります。ロータリーとそのパートナー団体は、これまで世界中25億人以上の子どもにワクチンを投与する活動を行ってきました。

1988年以来、ポリオ症例数は全世界で99.9%減りました。現在、野生型ポリオウイルスの常在国はアフガニスタン・パキスタン・ナイジェリアのわずか3カ国となっています。

1979年、ロータリーは、3-Hプロジェクトとしてフィリピンで600万人の子どもへの一斉予防接種を計画しました。このプロジェクトの成功で、膨大な資金をかけた大規模かつ組織的な一斉予防接種が可能であることを世界に示しました。1985年に世界からポリオを撲滅するというRIの特別プログラム「ポリオプラス・キャンペーン」を発足さ



幹事報告

(中元幹事)

1) 地区より

①2019-2020年度インターアクトクラブ国際交流親睦会の案内が届く(丸山委員長にメールでお送りしました。)

②ロータリー財団表彰者及び米山功労者についての照会が届く(上野山栄作君、中村吉伸君、成川守彦君に確認し、地区に報告しました。)

③2019-20年度クラブ米山委員長会議及びカウンセラー研修会の案内が届く(嶋田ひで委員長、川口健太郎カウンセラーにお渡ししました。)

④地区大会開催の案内が届く

2019年10月26日(土)

大会第一日目:ホテルアゴーラリージェンシー大阪堺4F

2019年10月27日(日)

大会第二日目:ホテルアゴーラリージェンシー大阪堺4F

2)ロータリー文庫より2018-2019年度の決算書の報告が届く

3)米山梅吉記念館より賛助会入会のお願いが届く(川口米山委員のお渡ししました。)

4)例会変更、他クラブ週報(田辺東RC)(後方掲示)



ゲストの紹介 (橋本会長)

本日の卓話者柳川敏彦さんをご紹介します。

柳川さんの経歴をご紹介します。

昭和56年(1981年)和歌山県立医科大学をご卒業の後、紀南総合病院、泉大津市民病院をへて、和歌山県立医科大学小児科助手、講師を歴任。

平成16年(2004年)和歌山県立医科大学保健看護学部教授に就任。

平成30年(2018年)和歌山県立医科大学副学長、及び保健看護学部長(現職)

1994年米国テキサス大学医学部ガルベ斯顿校に留学され、

1998年には、厚生科学研究の助成を受け英国ロンドン医科大学小児科保健学部グレート・オーモンド・ストリート小児科病院で小児虐待の予防活動についての研究に従事されました。

私と柳川さんとは、海南高校の同級生で、数年前の同窓会でお会いして、その後、美園商店街のミソノバルの斜め前に「日本子ども虐待防止学会」があるので親しくなりました。ある時RCの会長になったら、卓話してほしいと依頼したら快く引き受けてくれ、今日の卓話になりました。

戦」は、親である私たちができる日常の行為であり、考え方である。子育ての質は、子どものすべての成長面に広範な影響を与えるという強い証拠(エビデンス)がある。心身ともに健康で、適応力のある子どもを育てることを目的にした「前向き子育てプログラム:トリプルP」を広く普及したい。5つの主要原則「1. 安全で楽しい活動のある環境、2. 建設的な学習環境、3. 一貫した分かりやすいしつけ、4. 現実的な期待感、5. 親自身のケア」は、親自身の新しい気づきである。子どもに対する否定的な考え方を、子どもと養育者ともに役に立つ、もっと理性的な考えに置き換え、健全な家庭、そして、たくましい地域力を目指していきたい。

和歌山子どもの虐待防止協会は、上記の「子育て支援」に加えて、「社会的養護(里親、児童養護施設など)支援」、そして「学習支援を含めた子ども食堂」の3本柱で活動をつづけており、多くの方々のご支援を心からお願いする次第である。

閉会・点鐘 (橋本会長)

卓話

**「子ども虐待予防のために
私たちができること」**



和歌山県立医科大学
保健看護学部長
NPO法人 和歌山子ども虐待防止協会 事務局長

柳川 敏彦 様

本年8月に、厚生労働省から全国児童相談所による子ども虐待対応件数が発表され、平成30年度は15万9,850件(速報値)に達した。その内訳は、心理的虐待が88,389件で全体の55%を占め、次いで身体的虐待が40,256件(25%)、ネグレクトが29,474件(18.4%)、性的虐待が1,731件(1.1%)であった。また、平成30年度には、2つの痛ましい死亡事例が報道されたが、これらの事件は、ともに近隣や医療機関や学校から通告があり、子どもを守るべき最後の砦である児童相談所が関係していたにも拘わらず、不適切な対応によって最悪の結果となったものである。加害者の言い分は、「子どもに対するしつけ」である。体罰や子どもへの言葉の暴力は、「子どもの子どもの人権」侵害である。子ども虐待の定義は、あくまで子ども側の定義であり、親は一生懸命であっても、その子をかわいいと思っても、子ども側にとって有害であれば虐待である。

「体罰や言葉の暴力を使わない子育て」、「愛の鞭ゼロ作

渡辺誠二氏(ロータリーの友事務所 所長・理事)を囲む会

日時：2019年9月25日(水)
午後7時～

場所：橋家
会費：5,000円

◎ぜひご参加下さい。

**次週
9月19日(木)は
休会です。**

